

飛翔

発行責任者
平塚MAC
今込 祐弘



新春メッセージ

共生の新しい時代の到来

会長 今込祐弘



皆様、明けましておめで
とうございます。お健やか
に令和5年の新春をお迎え
のこと心よりお喜び申し上
げます。本年もどうぞ宜し
くお願い致します。

さあ、この1年はどんな新
しい景色になるのでしょうか。
例えば3年前の今頃、私
は新型コロナウイルスと云
う言葉を知りませんでした。
新型感染症が、こんなにも
長く人々を苦しめるとは想
像もできなかったのです。
それが昨年(令和4年)は
年が明けると、もう、コロナ
感染症の第6波から社会の
動きは始まったのです。
やがては北京で人権批判
の中を冬季五輪が開催され、
その閉幕を待つように、口

露呈し底なしの様相となり、
産業界では、半導体不足に
寄る苦境。

記録的な円安で、物価高
にも大きく反映し、家計へ
の負担増大と云った中で、
カレンダーも最後の一枚に
なる頃、サッカーのWカップ
が始まり熱狂しました。
処で日本では高齢社会。

シア軍によるウクライナ侵
攻が始まりました。国際社
会の厳しい批判もよそに、長
期戦の様相を見せています。
いつの時代でも戦争は権力
者によって引き起こされる
が、大衆による沈黙や暗黙
の同意が権力者を支持して
しまうことになり得ます。日本
の近代史がそうです。
国内に目を戻せば、参院選
のさなか、安倍元総理の銃
撃事件には驚愕しました。
やがて旧統一教会問題が

体力の脆弱だけでなく
“心の衰え、無気力、無関
心”が心配です。大事なのは
触れ合って刺激を受ける。
これこそ平塚MACの旨と
する『参加・交流・親睦』が健
康寿命の進展に役立ってい
るに違いない。

予防には①社会参加をす
ること。②とにかく毎日少
しづつ運動を続けること。
現代に於いてはフレイルに
早く気が付き、治療や予防
をすることが大切です。

統計では、寿命と健康寿
命の間には平均10年もあり
ます。この差を出来るだけ
縮めることが人生を元気に
送るコツ。『元気とは、
健康寿命を延ばすこと』。

平塚MACの平均年齢は
今や、79歳。創立以来23年
で15歳も上がったことにな
ります。だが、
「七十、八十、鼻たれ小僧
男盛りは百から!!」。
と云うではありませんか。
「人生は一生が学び」まだ、
卒業だなんて云ってられま
せん。
MACの活動はコロナ禍で
大きく影響されましたが、
活性化には、役員会の立て
直しが急務です。かつて、役

員の減少が進められまし
た。令和5年度の見通しは
会長含め3〜4人体制です。
事務処理機関ならそれで

十分ですが、会員に参加をと、
活性化をと、呼びかけながら、
おおよそ執行部が縮小沈黙化
して、団体やチームが成功し
た例を知りません。
ある程度の役員数は確保し、

囲碁を楽しむ会

一年納めのリーグ戦

「囲碁を楽しむ会」は本年も
コロナ禍にめげず、毎回10名
前後の参加者で活発に活動し
てきました。今年は新しい試
みとして約半年の期間をかけ
て、総当たりのリーグ戦形式
で競う大会を実施し、12月16
日の納会日に成績発表・表彰
式を行いました。

優勝者は、Aブロックが古和
田さん、Bブロックが井関さ
んでした。成績発表後の反省
会兼懇親会では、飲食を控え
ながらではありましたが、楽
しい歓談の時を過ごしなが
ら、更に魅力のある大会にするた
めの意見なども提案され、メ
ンバーの熱意の感じられる納
会となりました。
コロナの収束はまだ見えま

意見、情報が活発に取り交わ
されてこそ、会は栄え活性化し
ます。
さあ、世界はもう「共生社
会」。インフルエンザと同じで
十分に気を付けながらも
徐々に前進してまいりますよ
う。共生時代になったのです。
平塚MACにも「新しい時代
の到来」です。

大会参加棋士の面々



せんが、囲碁という楽しみを
通じてお互いの健康を約して
散会しました。

笹ヶ瀬 正二 記

裏面に続く

学習会

関東大震災から100年 震源直上の神奈川で何があったか？

今年度第二回の学習会は12月10日の防災講演会に平塚MACとして参加するかたちで行われました。コロナ禍の影響で学習会の予定が立てにくく何を計画すべきか悩んでいたところ、「ひらつか防災まちづくりの会」が主催する防災関連の講演会を計画していることを知り、学習会として参加を検討しました。幸い同会の事務局長が当会のメンバーである原園信夫氏であることが分かり、まとめて参加できることで実現しました。

講演会概要

来年在関東大震災から100年の節目に当たることから「ひらつか防災まちづくりの会」が関東大震災研究の第一人者である、名古屋大学減災連携研究センター特任教授 武村雅之氏を講師として、「関東大震災

から100年・震源直上の神奈川で何があったか？」の講演会を開催しました。日時は12月10日(土)13時30分～15時30分、会場は平塚市民活動センター、参加費無料、定員64名(Zoomによる参加も可能)でした。

武村雅之先生



MACからは13名(うちZoom2名)が参加しました。

関東大震災では

講師の武村さんは、神奈川県にとつて関東地震は巨大直下型地震であるが記録が体系的に整理されていないとして、10年余をかけて震源域の真上にあたる神奈川県に残る霊碑、記念碑、遺構等関連物の全てについて現地調査しています。

私の感想

関東大震災から100年、当時を知る人はほぼいない。それだからこそこのような講演会で震災の実態を知り、震災に対する耐力を付けておくことの大切さを感じました。

中村輝夫 記



Withコロナを模索して

飛翔編集員より

明けましておめでとうございませう。飛翔編集員からご挨拶をさせて頂きます。昨年を振り返ってみますと飛翔発行は8回でした。

コロナ禍のイベント減もあり、皆さまに提供する情報量が少なくなっており残念です。

内容は調べてみると、会長挨拶(1回)、総会関係(2回)、学習会(2回)、パークゴルフの会(1回)、アヒルの会(1回)、七夕飾りボランティア(1回)、囲碁を楽しむ会(1回)、会員からの寄稿(2回)、新入会員紹介(4回)でした。

願っています。

皆さまからの身の回りのこと、気になっていること、紹介したいことなど、お気軽に編集員まで声かけ頂ければと思います。では、良い1年となることを祈念しております。

編集員一同
(江藤、小澤、村松、山本)

会員往来

- 新入会員紹介(12月)
- 鈴木 年昭 (ススキトシアキ)さん
- 河内在住
- 南條 裕毅
- (ナンジヨウ ヤスタカ)さん
- 松風町在住

今年が、会員の健康と、兎の様に心弾む一年となる事を参加が縁で入会されました。

当面のスケジュール	
2月9日、23日、3月9日、23日(木)	パソコン勉強会
2月20日、3月6日、20日(月)	パークゴルフの会
2月3日、10日、17日、24日(金)、 3月13日、10日、17日、24日(金)、	囲碁を楽しむ会
3月24日(金)	アヒルの会